

平成 27 年度 山下中学校校内研究構想図

学校教育目標「瞳輝いて中学生 志燃えて中学生 心通わせて中学生」

《目指す学校像》 「夢があり、授業が楽しい学校」

《基本方針》 「自分の考えをしっかりと持ち、意欲的に授業に臨める人になろう」

《重点施策》

- ・自分の考えを持たせるための「書く活動」を重視した授業づくり
- ・生徒に自信を持たせるための、発表や表現活動の場の工夫
- ・校内研修の一層の充実による、教師個々の教科指導力の向上

生徒の実態

- 授業の目標をつかみ、前時とのつながりを意識して臨んでいる。
- 授業の内容をおおよそ分かったとは感じているが、自信を持っていない。

目指す生徒像

- 基礎的・基本的な知識や技能の習得ができる生徒
- 目標やねらいをつかみ、見通しを持って学習に取り組むことができる生徒
- 学習を振り返り、課題解決できた実感を持つことができる生徒

今日的教育課題

「学力向上に向けた5つの提言」

- ・自分の考えをノートにしっかりと書かせる
- 「みやぎ授業づくりスタンダード」
- ・気付きを生かして自分の考えを書かせる

研究主題

生徒が「わかる」・「できる」と実感できる
授業づくりを目指して
～書く活動を取り入れた授業展開の工夫を通して～

昨年度/授業の導入
(目標やねらいの提示)

来年度
授業の終末

研究目標

生徒が「わかる」・「できる」と実感できる授業づくりを、書く活動を取り入れた授業展開の工夫を通して明らかにする。

授業づくりの 重点努力目標

- 一人一人の定着状況を確実な把握、指導と評価の一体化
- 発表や表現活動の場の意図的な設定
- 進路情報と生徒指導状況の強化

研究仮説

授業において、以下の点に留意して書く活動を取り入れた展開を工夫すれば、生徒が「わかる」・「できる」と実感できる授業づくりができるであろう。

- ①ノートづくりの習慣づけ ⇒ 次時の学習につなげる
- ②自分の意見や考えを書く ⇒ 見通しをもった学習の取組
- ③課題解決への手順や考え方の過程を記録 ⇒ 論理的な思考力や判断力
- ④生徒の書いたものへの評価やアドバイス ⇒ 学習意欲の向上